KP TIMES 11月号

ケイジパックのＳＤＧs

SDGs（持続可能な開発目標）活動

働きがいも 経済成長も
- 男女、年齢の差別なく、安全で働きがいのある職場づくりを取り組んでいます。

産業の技術革新の基盤を作ろう
- 製品企画において、継続的な技術革新を行います。

住み続けられる まちづくり
- 会社周辺の清掃活動や、学校や地域のイベントに自社製品を協賛するなど、住みよい街づくりに貢献します。

つくる責任 つかう責任
- ダンボールの原材料である古紙をリサイクルします。
- FSC認証企業から材料の調達をし、廃棄時にリサイクルされる素材の製品を製造・販売します。
- 段ボール製品リサイクルマークの使用の斡旋にも取り組んでいます。

気候変動に具体的な対策を
- ハイブリッド車両の導入や、ガソリン給油量の削減に取り組んでいます。

海の豊かさを守ろう
- プラスチックに代わってリサイクル性の高いダンボールを普及することでプラスチック製海洋ゴミの減少に貢献します。

陸の豊かさも守ろう
- リサイクルされる素材（ダンボール、紙）を使用しての製品を製造します。
- FSC認証企業から材料を調達します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

この度、ケイジパックのSDGs活動として以下7項目に取り組む事を宣言します！

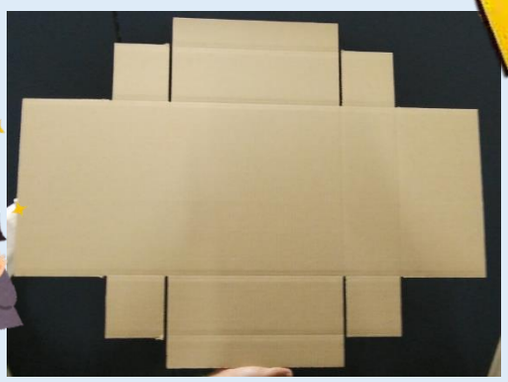
この中から今回は
【9.産業の技術革新の基盤を作ろう】
をピックアップしまして、
先日新たに導入された
デジタル段ボールケース製造機
「インテリジェントボックス」を
ご紹介させていただきます。

この機械の導入により、
工程の短縮による時間や
コストの削減、また今までの
製造機では製造できなかった
タイプの製品の製造を可能にしました。

今後もSDGs活動を通して、
より良い社会づくりに貢献していきたいと
思います。

機械資材入り口：こちらからシートを入れます。

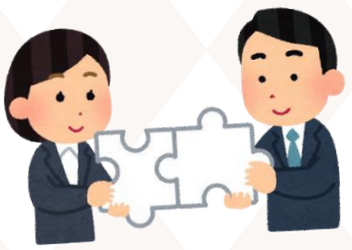
出口：断裁スリット加工されたものが出てきます。



シャキっと
スルッと
はい
完成!!

今まで難しかったこのようなのりしろ付のヤッコも寸法を入力するだけで簡単に作成できます。
（1枚からでも作成可能です。）

このご時世、「雑談」どうしていますか？コロナ禍の雑談事情



リモートワーク、在宅勤務、時差出勤、ローテーション勤務など、
新型コロナウィルスの感染拡大によって働き方が大きく変わりました。
または制限することで、感染リスクの低減は可能になりましたが、
出社しないことによるデメリットもあります。
それが社員間でのコミュニケーション不足や社員の孤独感です。

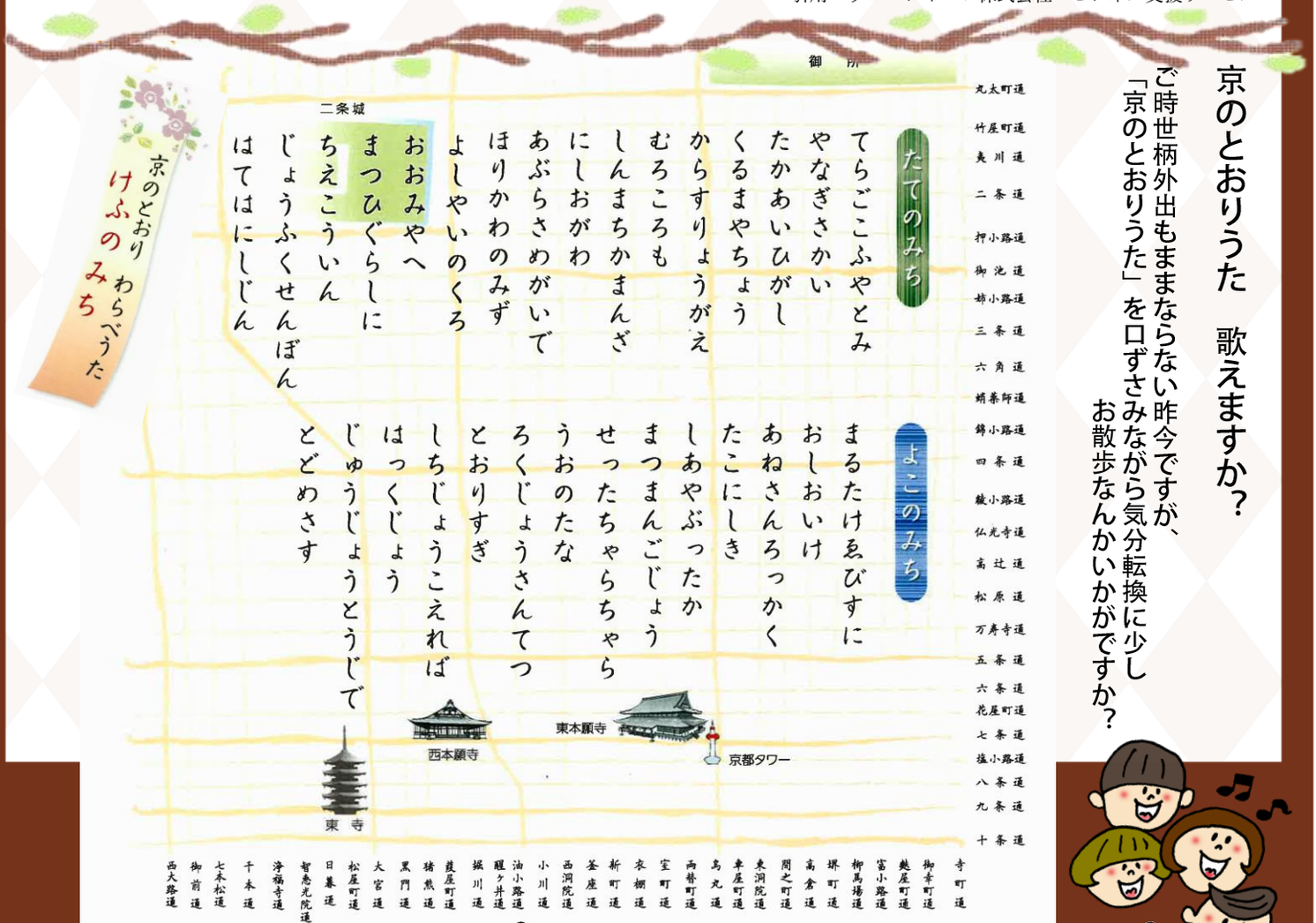
雑談から生まれるひらめき、アイデアも

いわゆる「雑談」が足りないのです。移動中でも、オフィスでも、仕事に直接関係のない話や、
共通の趣味の話題、体調や食事の話を通して、私たちは人間関係を深めることができます。
何気ないやりとりから「！」とアイデアがひらめくこともあり、雑談というのは意外に重要なものです。
仕事に直接関係がないと思われていた雑談は、実は、生産性向上や社員のモチベーション向上に
大きく関わるといわれています。「創造性は何気ない会話、行きあたりばったりの議論から生まれる」
とスティーブ・ジョブズも語っています。

上司や経営層からの働きかけが重要

雑談によって周りの人とのつながりが生まれ、親しみのある風通しの良いオフィス
環境になります。
ではどうすれば雑談のようなカジュアルなコミュニケーションを生み出せるでしょうか。
簡単に始められるのはチャットツールの活用です。
話題はなんでもＯＫ。**ポイントは、上司から積極的に話題を提供することです。**
気軽な雑談を通じて仕事の悩みを共有し、オフィスで働いていたときのような人間関係も感じられる。
こうしたコミュニケーションツールを活用することで効率の良い働き方改革の突破口になるのかもしれません

引用：リコージャパン株式会社　ビジネス支援サービス

京のとおりうた　歌えますか？

ご時世柄外出もままならない昨今ですが、
「京のとおりうた」を口ずさみながら気分転換に少し
お散歩なんかいかがですか？